

2025
10 OCT.

TACHIKAWA HOSPITAL



NEWS NO. 85

2▶

立川病院との医療連携について

4▶

第7回立川病院キッズセミナー

6▶

2025年度立川病院市民公開講座の様子

7▶

立川病院地域医療連携懇話会のご案内

立川病院 だより



病院外観

立川病院との医療連携について



立川市医師会長
富上 雅好

本年度新しく立川市医師会会長に就任いたしました富上と申します。同時に立川病院地域医療連携推進委員会の副委員長に任命して頂き誠にありがとうございます。これから引き受ける重責に、身の引き締まる思いであります。

立川病院はその名のとおり立川市にありますので、我々立川市医師会会員はその恩恵にあずかっております。当然のことながら立川病院への紹介患者数は立川市医師会が一番多いと聞いております。立川病院地域医療連携懇話会の参加者数も立川市医師会が一番多いです。懇話会では病院の先生方と顔の見える連携の構築が出来ますことはとてもありがたいです。

立川病院は非常に高いレベルの医療技術を持たれておりますので安心して患者さんを紹介することが出来ます。個人的なことではありますが、私の恩師である矢部裕元慶應義塾大学病院院長が約20年前に立川病院の院長として赴任されました。当然早速ご挨拶に伺ったのですが、その際に矢部先生は病診連携の必要性をおっしゃっておられました。これ以降立川病院と医師会の連携が加速したのではないかと考えております。今では病診連携だけでなく多職種連携に積極的に取り組みをされておられ感謝致します。

立川病院は立川市医師会の事業に多大なるご協力を頂いております。まずお礼を申し上げたいのは現在2名の先生が立川市医師会の理事に参加して頂いていることです。おかげさまで講演会など様々な事業がとてもスムーズに運営出来ます。他にも立川病院は「東京都災害拠点病院」を担っておられます。災害時には我々立川市医師会は災害時緊急医療救護所を設置致しますが、その後方支援をして頂ける協定を結んでいただけました。認知症関係でも国が推し進める認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）にもアウトリーチチームを構成していただきました。その他にも様々な事業に協力を頂いております。

最後になりますが、患者さんの健康のために我々立川市医師会は立川病院との更なる医療連携を推し進めたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

立川病院との医療連携について



国立市歯科医師会
会長
植野 信

日頃より、国立市歯科医師会会員との医療連携にご協力いただき、感謝申し上げます。

この度、国立市歯科医師会を預かることになりました。宜しく願い申し上げます。

国立市は東京都のほぼ中央に位置し、面積は都内で2番目に小さく、市民が散歩や買い物を楽しめるメインストリートの大学通りがあり、春は桜並木、秋は銀杏並木、冬はイルミネーションが美しい街です。

国立市歯科医師会は、現在、会員54名、医療機関42診療所と規模の小さな歯科医師会で、国立市民約7万6千人および近隣市の方々の健康を守り、地域医療の発展を目指して日常診療、健診事業、予防活動を行っています。

国立市民に対する歯科健診（無料）は、現在、全年齢（節目ではなく）に対応しており、年に一度は必ず、市民の誰もが歯科健診が受けられるシステムとなっております。つまり、市民は出生前から終末期に至るまで途切れることのない歯科健診が可能で、これは国立市行政の絶大な協力もありますが、自負できるものと考えております。

とはいうものの、疾病は、期せずして起こります。当たり前のことですが、会員は全力で対処しますが、開業医のレベルでは対応不可能なものも当然出てまいります。

そのような場合、私どもは歯科口腔外科部長 木津英樹先生に診療の依頼をさせていただくことが多々あります。専門性の高い疾患や診断・治療に迷うことも多い日々の診療において、貴院との密な医療連携が、会員の安心感につながり、日頃から大変、感謝しております。

また、木津先生には、定期的な学術講演会を行っていただいておりますが、会員の学術の向上と研鑽に大いに資するところであり、この誌面をおかりして、厚く御礼申し上げます。

地域医療に貢献するため、今後も貴院との連携は非常に重要であり、益々の連携強化をお願い申し上げます。

第7回立川病院キッズセミナー

令和7年7月19日に「第7回キッズセミナー」を開催いたしました。本セミナーは小学3年生から中学3年生を対象に、病院で働くいろいろな人の仕事を体験してもらい医療に興味を持ってもらうとともに立川病院のことをもっと知ってもらおうと、平成29年より毎年夏に開催しているものです。（コロナ禍2年を除く）

当日は午前・午後の部の2回に分けて総勢67名のお子さんがグループごとに、①輸血で太郎を救え（中央検査科）②目指せ菌メダル！薬剤耐性クイズ（感染制御部）③中央放射線科のお仕事（中央放射線科）④薬剤師のお仕事って？（薬剤科）⑤手術支援ロボットって？⑥腹腔鏡手術体験・顕微鏡手術体験・電気メス体験（外科系診療科、MEセンター、中央手術部）などの医療体験に挑戦しました。

専門のスタッフの指導のもとで本物の医療機器を使用して行う体験に、参加者や保護者の方からは「一つ一つの内容が凝っていて、医療関係のことにもっと興味がわいた」「いろいろな仕事があることがわかり良かった。将来は立川病院で仕事ができれば良いと思う」「普段知ることのない医療職やその現場に触れる経験は視野を広げるきっかけになりました」などの嬉しいお言葉を多数いただきました。またお子さんたちの興味や憧れの気持ちに触れ、私たち職員にとっても初心に立ち返ることができた大変に貴重な1日となりました。このような企画を今後も継続して開催してまいりたいと思います。



参加した医師たち



スタッフ挨拶



腹腔鏡手術トレーニング（手術室）



調剤体験（薬剤科）



調剤体験（薬剤科）



透視画像を読み解く（放射線科）



血液型を調べる（検査科）



薬剤耐性菌を知る（感染制御部）



手術ロボットの操作体験（手術室）

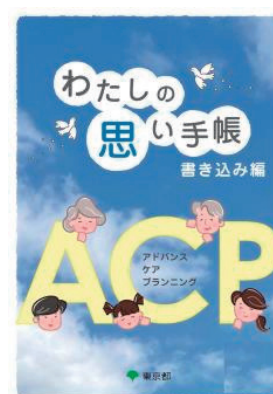
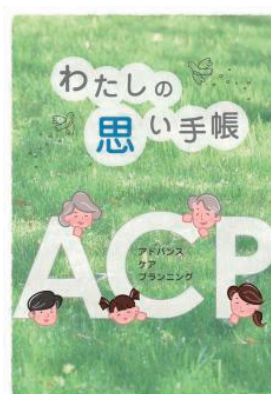
2025年度立川病院市民公開講座の様子



5月31日（土） 人生会議（ACP）ってなんだろう？

〈参加者の方からの声〉

- * ACPを難しく考えず、日々家族と楽しみや大切にしていることを共有したい
- * 両親も高齢になってきたので、思いの手帳を活用して話してみたい



7月26日（土） 大人のためのがん教育

♪ 授業開始のチャイムの音から始まりました ♪

〈参加者の方からの声〉

- * がん教育により、がんを理解し、もし家族が患者となってもよりそえる心の準備になる機会になると思う
- * 早期の癌教育が、日本の未来を明るく影響してくれたいと思う
- * 特定のがんの種類に絞らず、癌全般のことを知るには本当にわかりやすい内容で大変勉強になった
- * ミスコピーなどの知識が増え若いころからの生活習慣や検診が大切だとわかりました



➤ 次回のお知らせ **2025年10月11日 14時～16時**
テーマ：立川市と立川病院（災害拠点病院）の災害時の役割を知ろう

報 告

立川病院地域医療連携懇話会を開催いたします

2025年11月18日（火）19時より、ホテルエミシア東京立川において「第25回立川病院地域医療連携懇話会」を開催いたします。

昨年度は過去最多268名の方々にご参加いただき、顔のみえる貴重な意見交換の場を設けることができました。

今回も、昨年度に引き続き、着座形式での会場をご用意いたしましたので、立川病院各診療科医師及び、地域の先生方・多職種の方との交流を深めていただきたいと考えております。

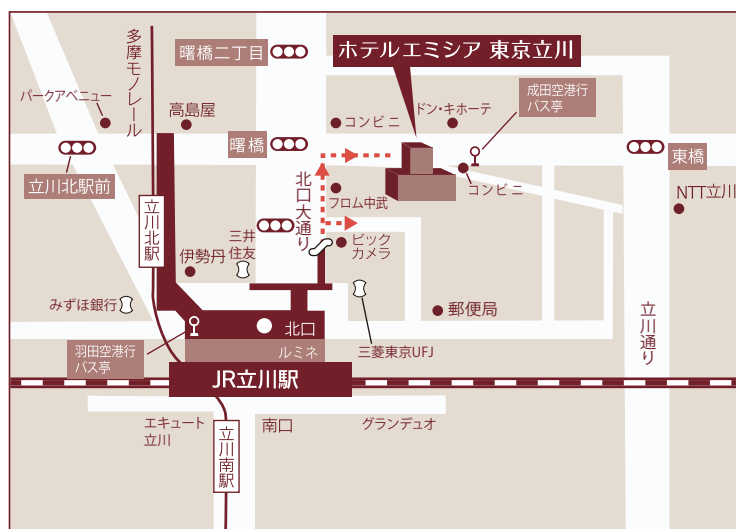
是非、ご参加いただきますよう宜しくお願い致します。

尚、詳細につきましては後日改めてお知らせさせていただきます。

地域医療連携センター

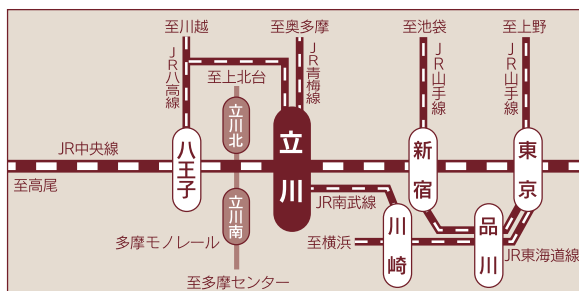
ホテルエミシア東京立川 アクセス

JR立川駅からの徒歩のご案内



電車の場合

- JR立川駅北口から徒歩 **2分**
- 多摩モノレール立川北駅から徒歩 **3分**
- JR中央線 新宿駅から38分/東京駅から51分/八王子駅から13分



お車の場合

当ホテル駐車場は地下にございます。
機械式普通車専用駐車場です。
先着順のご案内しているため予約は受け付けておりません。

収容規格：高さ 1.55m 長さ 4.8m 幅 1.75m

規格外のお車・満車の場合は近隣有料駐車場をご利用ください。

（料金はお客様のご負担となりますので予めご了承ください）



ご要望などございましたら、地域医療連携センターまで
ご連絡をお願いいたします。

国家公務員共済組合連合会 立川病院

〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22

TEL : 042-523-3131 FAX : 042-522-5784

ホームページアドレス : <http://www.tachikawa-hosp.gr.jp/index.html>

発行 : 令和7年10月1日 (年3回)

発行者 : 立川病院地域医療連携センター

編集者 : 片井均、風間友子

地域医療連携センター

TEL : 042-524-2438

FAX : 042-523-3160